

# 一般質問

12月定例会では、17人の議員が一般質問を行いました。質問の持ち時間は答弁を含めて1人60分です。

ここでは紙面の都合上、1人1項目を選び質問・答弁を要約し、分野ごとにまとめて掲載しました。

※「市民の声」＝市民の声を届ける会

令和元年10月から実証実験運行中のコミュニティバス北国分ルート



## 道路交通

### 行徳橋の架け替え

**西村 敦議員 (公明党)**  
現在、国・県により行徳橋架け替え工事が行われているが、取り付け道路用地が一部未取得とのこと、

### 未取得の用地があるが工事への影響は河川管理者等と具体策協議していく

予定期工事が完了するか心配である。令和2年3月末の供用開始に向けた今後の整備の進捗について問う。また、供用開始前に地元住民等を対象に現場説明会等を開催することは可能か。

### コミュニティバス北国分ルート

**清水みな子議員 (日本共産党)**  
令和元年10月より、北国分駅と矢切駅を結ぶコミュニティバス北国分ルートの実証運行が始まった。バス

### 本格運行へ向けた取り組みは実証運行踏まえ今後も研究していく

の運行は交通不便地域対策の他、高齢者等の足の確保にもなる。同ルートの実証運行の経過と本格運行に向けた取り組みについて問う。答 実証運行の開始に合わせ、市はバス停付近の安全対策や周知等に努めており、「市川市北西部」コミュニティバスを走らせる会」は、利用者や地域自治会へのアンケートを実施している。今後、採算率の確認やアンケート等を参考に運行計画の改善を図る等、地域にとって利便性の高いバスとなるよう研究していく。

### 鉄道駅のホームドア

**国松ひろき議員 (創生市川)**  
JR東日本の発表によると、同社は下総中山駅及び西船橋駅において、事故防止のためホームドアを設置する方向で検討しているとのことだが、市川駅や本八幡駅については言及されていない。そこで、両駅へのホームドアの設置見込みについて、本市の認識を問う。

### 市川駅・本八幡駅への設置は早期の設置をJRに要望していく

する方向で検討しているとのことだが、市川駅や本八幡駅については言及されていない。そこで、両駅へのホームドアの設置見込みについて、本市の認識を問う。答 JR東日本は、2025年度末までに東京圏在来線の120駅程度にホームドアを設置する方針を発表している。市としては、乗降客数が日に10万人以上である市川駅及び本八幡駅においても同年までに整備されるものと考えており、可能な限り早く設置されるよう、同社へ要望していく。

## 経済

### 市内経済の活性化

**金子貞作議員 (日本共産党)**  
市民に身近な中小企業や商店街等を支援し、地域経済や雇用を守る取り組みが求められている。市内における循環型経済の確立及び経済の活性化に向け、市はどのように考えているか。

### 循環型経済の確立 市の考えは事業者支援と市内消費の促進が重要

答 循環型経済を実現するためには、企業の発展を促し生産額を向上させると共に、市民の消費を活性化し市内での消費を促すことが重要であると考えている。地域の事業者を支援することで雇用を生み、市内での消費拡大により新たな起業者を引き寄せられるよう、今後も経済活動への支援を行い、事業者の新たな挑戦をサポートできるように、最大限配慮していきたい。

## 防災

### 第三中学校南側の崖地

**かいづ勉議員 (自由民主党)**  
第三中学校南側の崖地については、いつ見舞われるか分からない台風等による災害に備え、以前から安全

### 安全対策に向けた取り組み状況は関係者で協議 警戒区域指定の準備も

対策を求めてきた。その後市の取り組み及び土砂災害警戒区域の指定に向けた対応はどうか。答 当該崖地の安全対策に向けては、令和元年10

### 農産物の台風被害

**中村よしお議員 (公明党)**  
令和元年9月に千葉県に上陸した台風15号により、本市の多くの梨農家で収穫間近の梨の落下等甚大な被害が生じた。市が独自で見舞金の支給を行ったことは画期的だが、今後は、天候による損失を最小限に抑えるため、6次産業化による落下した梨の活用等農家へ

### 梨農家への支援策 市の認識は落下した梨の活用など研究していく

害が生じた。市が独自で見舞金の支給を行ったことは画期的だが、今後は、天候による損失を最小限に抑えるため、6次産業化による落下した梨の活用等農家への支援策が必要ではないか。答 今回の被災で、梨の被害の抑止には鳥よけの防鳥網よりも目が細かい多目的防炎網の方が効果的であることが判明したことから、多目的防炎網へ切り替えやすくなる施策を検討する。落下して傷ついた梨は日持ちが悪く活用は難しいが、今後引き続き研究していく。

### 崖地の安全対策

**堀越 優議員 (公明党)**  
過日の記録的な大雨により全国で土砂災害があったが、市内の崖崩れ警戒区域が、市内の崖崩れ警戒区域88カ所のうち安全対策工事は今後どう進めていくのか。

### 工事未完了の区域 今後どう進める安全確保への協力を丁寧の説明する

が完了しているのは20カ所という。崖崩れの防止は崖地の所有者だけでなく行政が対策を進めることも重要だが、残る崖地の対策工事は今後どう進めていくのか。答 工事未完了の崖地68カ所については所有者に適切な管理を依頼しており、崖地の安全対策は所有者の責務である旨と、市の助成制度も案内している。崖の規模によっては国又は県の補助があるが、市としては今後も安全確保に係る周辺住民の同意を得られるよう、丁寧に説明していく。

## 教育

### 学校徴収金

**久保川隆志議員 (公明党)**  
公立小中学校における学校徴収金のうち、給食費は令和3年度から公会計化されるとのことだが、どのよ

### 事務の負担軽減に向け 市の対応は振込以外にも多様な納付方法を検討

うな納付方法を予定しているのか。また、保護者や教職員の負担軽減に向け、その他の徴収金の納付方法に、その他の徴収金の納付方法に関する市の対応を問う。答 公会計化される学校給食費の納付については、保護者の振込手続きの負担を軽減するため、コンビニ収納やキャッシュレス決済など多様な方法を検討している。また、その他の徴収金についても、口座引き落としによる納付ができるよう、教育委員会と校長会等で組織する検討委員会において具体的な検討を行っていく。